

オーバルネクストETF情報

2011年2月21日号



TEL 03(5641)5777

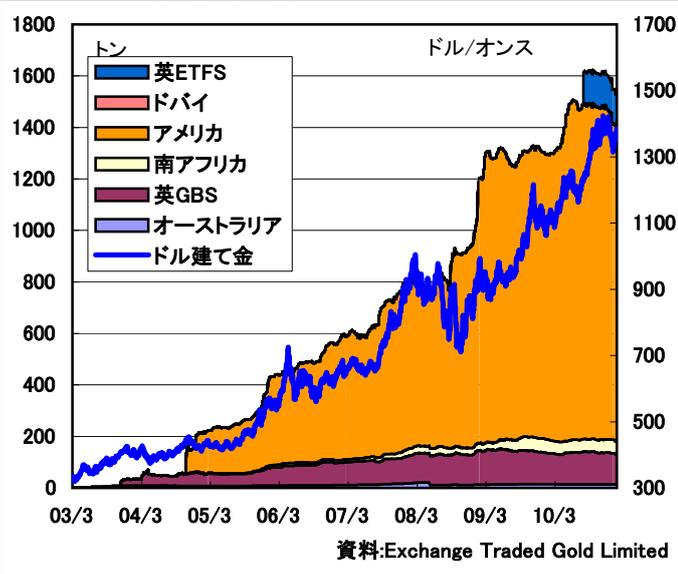
(株) オーバルネクスト
〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 7-2

弊社ホームページで本レポートを無料公開中
<http://www.ovalnext.co.jp/>

 **Oval Next Corp.**

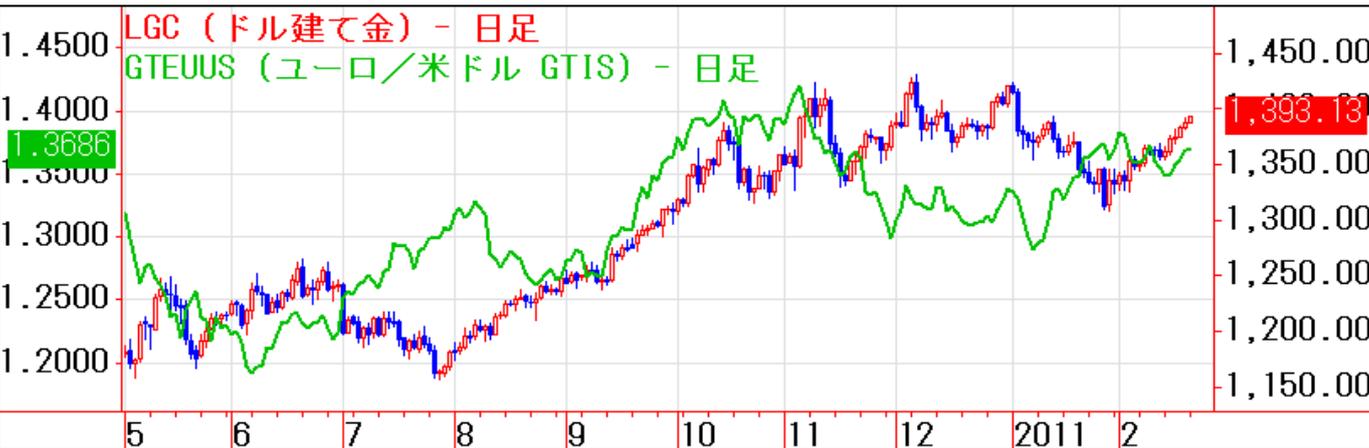
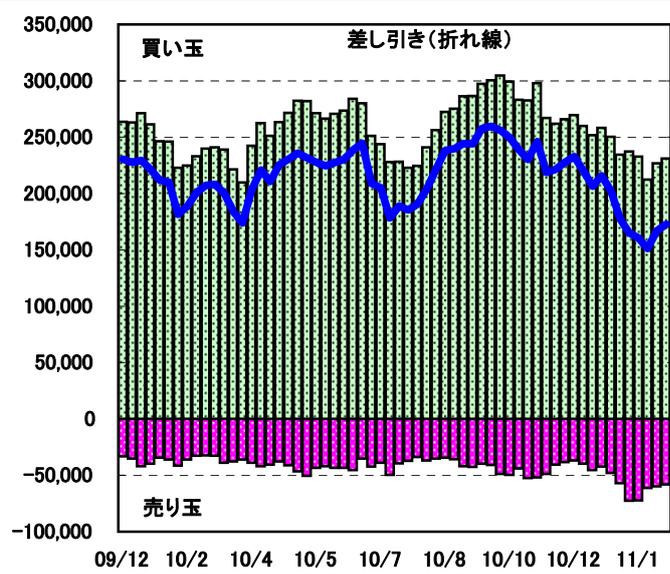
ETF残高減、先物買いは拡大

●金ETFの現物保有高



●大口投機家の取組=CFTC・NY金

単位: 枚



■金はインフレ・中東情勢に対する懸念、欧州の債務不安が支援要因

米商品先物取引委員会(CFTC)の建玉明細報告によると、2月15日時点のニューヨーク金の大口投機家の買い越しは17万2,844枚となり、前週の16万7,093枚から拡大した。今回は新規買いが4,144枚、買い戻しが1,607枚入り、買い越しを5,751枚拡大した。一方、18日のニューヨークの金ETF(上場投信)の現物保有高は前週末比2.43トン減の1223.10トンとなった。英消費者物価指数をきっかけにインフレ懸念、中東・北アフリカの民衆デモで政治情勢に対する懸念が出たが、ダウ平均株価が2008年6月以来の高値を付けるなか、米景気回復期待などを背景としたポートフォリオ組み替えで売られた。

ドル建て現物相場は、2010年12月7日に史上最高値1430.09ドルを付けた。欧州の債務不安に加え、バーナンキ米連邦準備理事会(FRB)議長が量的緩和を拡大する可能性を示唆したことなどが支援要因になった。プッシュ減税の延長合意をきっかけに国債増発懸念が出て長期金利が上昇すると、調整局面を迎えた。その後は欧州の債務不安の再燃などが下支えになると、ドル安などに支援されて約1カ月ぶりの高値1423.32ドルを付けた。ただ年明け後は米景気回復期待や中国の利上げなどを受けて再び調整局面を迎え、1月28日に昨年10月1日以来の安値1308.12ドルを付けた。2月に入ると、エジプトの政情不安や世界的なインフレ懸念を受けて反発すると、中東・北アフリカでの民衆デモ拡大による情勢不安や欧州の債務不安などを背景に堅調となった。

インフレ・中東情勢に対する懸念、欧州の債務不安などが金の支援要因になった。中国人民銀行が18日に預金準備率を引き上げ、金融引き締めを継続したが、市場で織り込み済みとみられた。G20財務相・中央銀行総裁会議では、高騰する食料価格に対し、調査部会を設置するとして、具体策に欠け、インフレは続くことになりそうだ。今週は中東情勢の行方が引き続き注目される。また米国では住宅販売の発表があり、住宅市場の動向も焦点になる。

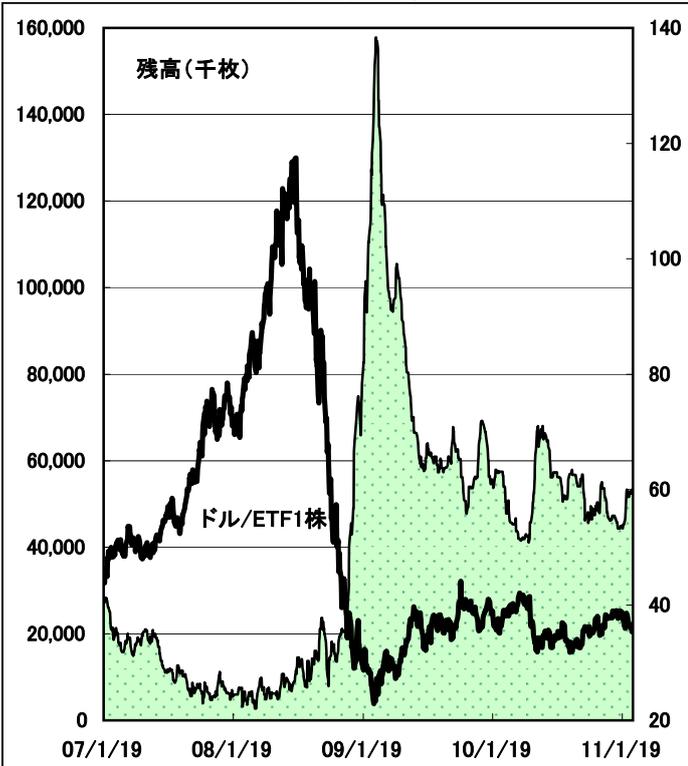
(オーバルネクスト 東海林勇行/2月21日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

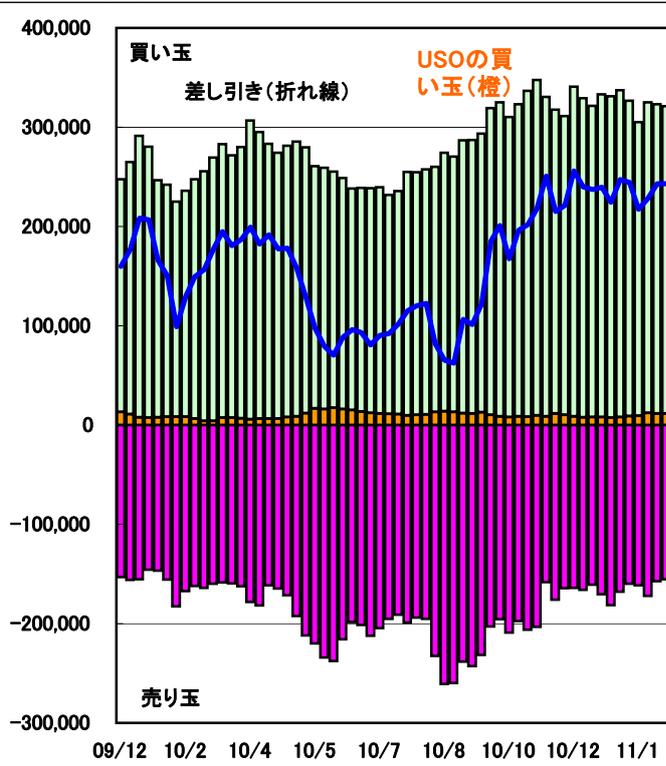
ETF残高増加、NY先物買いは横ばい

●原油ETF(USO)の価格と残高



●大口投機家とUSOの取組

単位:枚



■最近の動向と材料

ニューヨーク証券取引所(NYSE)で取引されている原油ETF(コード:USO)の残高は2月18日時点で5,380万株となり、前週末比90万株増加した。ニューヨーク原油はドル高などを受けて下落したが、中東情勢に対する懸念をきっかけに値を戻した。

USOが先物市場につないでいる原油の買い玉は18日時点でニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で1万1,751枚(前週末比214枚増)、Financial Futureが2,000枚(同変わらず)、インターコンチネンタル取引所(ICE)で8,000枚(同73枚減)となっている。

米商品先物取引委員会(CFTC)建玉明細報告によると、2月15日時点のニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)の原油の大口投機家の買い玉は32万1,167枚(前週32万3,090枚)、売り玉は15万5,653枚(同15万7,582枚)で16万5,514枚の買い越しとなり、前週の16万5,508枚の買い越しから6枚買い越し幅を拡大した。USOの買い玉は大口投機家の3.6%(同3.6%)を占めている。インターコンチネンタル取引所(ICE)のWTI原油の大口投機家の取組は、買い玉が5万3,774枚(同5万9,202枚)、売り玉は1万3,901枚(同1万8,173枚)で3万9,873枚買い越し(同4万1,029枚買い越し)に縮小した。USOの買い玉は大口投機家の14.9%(同14.0%)を占めている。

【原油ETF残高と先物ポジション】

	United States Oil Fund, LP			先物ポジション			
	終値	出来高	残高	NYMEX	Financial Future	ICE	限月
11/2/14	35.88	13,947,749	52,400	11,185	2,000	8,000	11/4
11/2/15	35.39	10,923,172	53,300	11,548	2,000	8,000	11/4
11/2/16	35.53	19,167,496	52,500	11,225	2,000	8,000	11/4
11/2/17	36.06	13,120,100	52,500	11,225	2,000	8,000	11/4
11/2/18	36.36	16,095,963	53,800	11,751	2,000	8,000	11/4

単位:残高は千株

資料:NYSE、USO

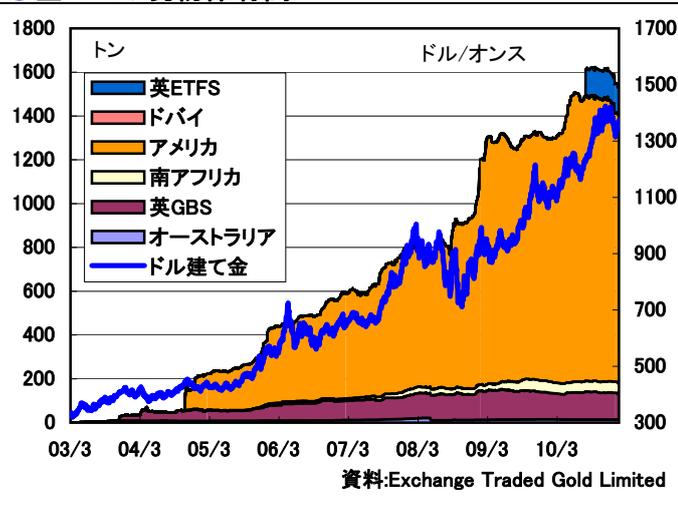
(オーバルネクスト 東海林勇行/2月21日記)

<免責事項>

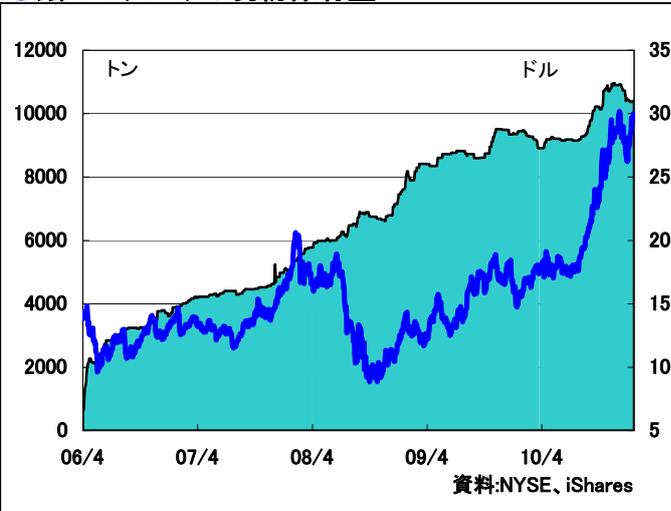
オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

金ETFからの資金流出が続く

●金ETFの現物保有高



●銀ETF(SLV)の現物保有量



■最近の動向と材料

世界13カ国に上場している金ETF(上場投資信託)の現物保有高は、2月16日時点で1525.98トンとなり、前週末比2.59トン減少した。ニューヨークで1.52トン、南アフリカで0.49トン、英ETFsで0.57トン、英GBSで0.01トン減少した。世界的なインフレ懸念や中東・北アフリカの民衆デモなどが支援要因だが、米景気回復期待などを背景に戻り場面で売られている。

ニューヨーク証券取引所(NYSE)の銀ETF(コード:SLV)の現物保有量は14日に22.78トン増加して1万0411.23トンとなった。ETFセキュリティーズの銀ETFの現物保有量はロンドン(コード:PHAG)が前週末比6.85トン減の886.81トン、ニューヨーク(コード:SIVR)が横ばいの504.65トンとなった。米景気回復期待によるポートフォリオ組み替えで売られやすいが、工業用需要の増加が見込め、新たに買う動きが出た。

【金ETF現物保有量詳細】

	豪州	英GBS	英ETFs	南ア	米国	ドバイ	合計	金現物相場
11/02/10	14.21	115.58	123.33	50.00	1225.53	0.15	1528.80	1,363.58
11/02/11	14.21	115.58	123.10	50.00	1225.53	0.15	1528.57	1,356.33
11/02/14	14.21	115.58	123.09	49.51	1225.53	0.15	1528.07	1,361.80
11/02/15	14.21	115.58	122.53	49.51	1224.01	0.15	1525.99	1,373.30
11/02/16	14.21	115.57	122.53	49.51	1224.01	0.15	1525.98	1,375.83

単位:トン、現物相場はドル/オンス

注:他の金ETFはIshare TRUST GOLD(16日現物保有は111.66トン)、米ETFセキュリティーズ(15日25.82トン)、チューリッヒ・カントナル・バンク(11日186.10トン)など。

資料: Exchange Traded Gold Limited

【銀ETF(NYSE:コードSLV)】

	銀ETF価格	出来高	現物保有量
11/02/10	29.46	13,930,353	10,388.5
11/02/11	29.21	18,115,407	10,388.5
11/02/14	29.96	17,197,280	10,411.2
11/02/15	30.00	16,588,812	10,411.2
11/02/16	29.96	19,767,262	10,411.2

単位: 価格はドル/ETF、現物保有量はトン

資料: NYSE, iShares

注:他の銀ETFはETFセキュリティーズ(ロンドン 16日886.81トン、NY 15日504.65トン)、チューリッヒ・カントナル・バンク(11日2,407.58トン)。

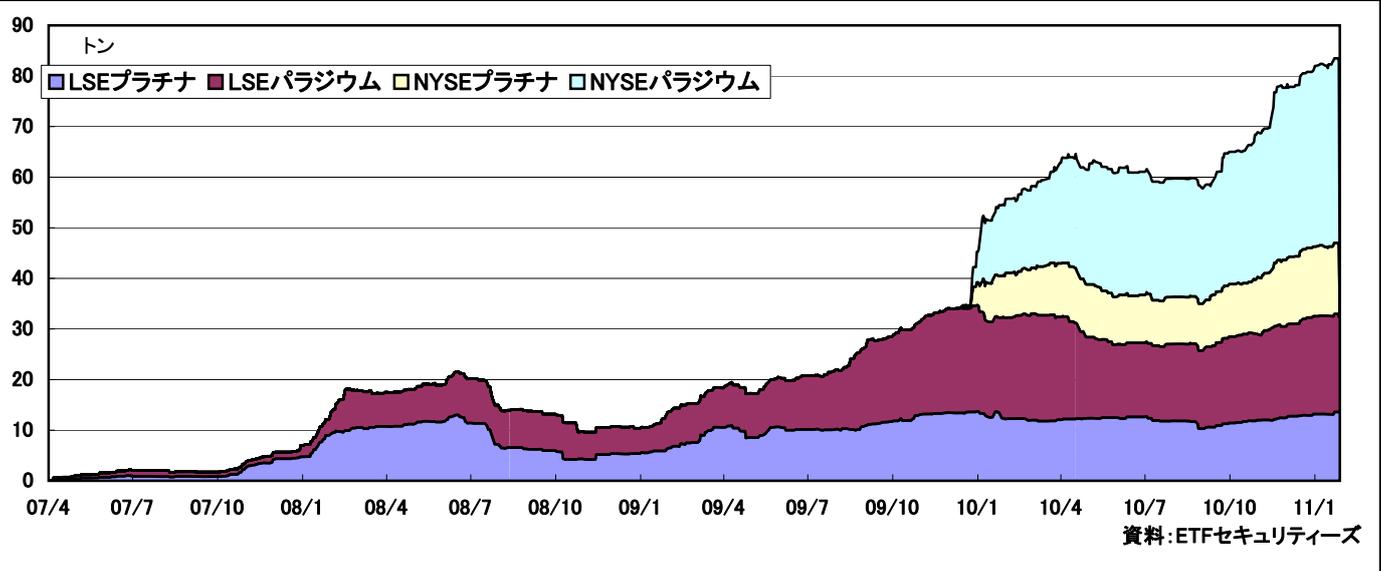
(オーバルネクスト 東海林勇行/2月17日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

ロンドンのETFはプラチナ増加、パラジウム減少

●PGMのETF現物保有高



■最近の動向と材料

ロンドン証券取引所(LSE)に上場しているプラチナ・パラジウムのETFの現物保有量(メタルセキュリティーズ分)は16日時点でプラチナが13.71トン、パラジウムが18.84トンとなった。9日からプラチナが0.59トン増、パラジウムは0.54トン減となった。景気回復期待や自動車販売増加などで需要増加が見込めることや南アのエスコムの電力供給に対する懸念などを背景にプラチナが買われたが、パラジウムは2001年2月以来の高値を付けるなか、一部で利益確定の売りが出た。

LSEのプラチナは2008年7月に13.01トンまで増加したのち、自動車販売減少や景気後退による需要減少懸念などを背景に売られて減少した。ただ欧米の金融危機対策などを受けて2008年11月下旬の4.19トンを底にして再び買われた。パラジウムは2008年7月の8.84トンをピークに減少したが、2009年1月後半の4.98トンを底にして再び買われて昨年9月以降に急増した。2010年3月に過去最高21.09トンを記録したのちは景気回復の勢いの衰えなどを受けて減少したが、6月の14.39トンを底にして再び買われた。

一方、ニューヨーク証券取引所(NYSE)のプラチナ・パラジウムETFの現物保有高は15日時点でそれぞれ14.06トン、36.46トンとなった。9日からプラチナ・パラジウムともに横ばいとなった。

【ETFセキュリティーズ】

	ロンドン証券取引所(LSE)				NY証券取引所(NYSE)	
	プラチナ	パラジウム	銀	金	プラチナ	パラジウム
11/02/10	13.59	19.38	893.66	131.13	14.06	36.46
11/02/11	13.59	19.38	893.66	130.89	14.06	36.46
11/02/14	13.59	19.38	893.66	130.89	14.06	36.46
11/02/15	13.59	18.84	886.81	130.33	14.06	36.46
11/02/16	13.71	18.84	886.81	130.33		

単位:トン

注:プラチナ・パラジウムETFは他にスイスのチューリッヒ・カントナル・バンクが販売。11日はそれぞれ11.04トン、14.08トン。

資料:ETFセキュリティーズ

(オーバルネクスト 東海林勇行/2月17日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。